

# TOKYO PACK 2026 NEWS

TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION 2026 Vol.1

東京ビッグサイト大規模改修により展示面積が大幅に減少します。

**2025年9月24日(水)より出展募集開始**

**早期特典は2025年12月12日(金)まで  
早々に募集定数に達することが予想されます。出展申込はお早めに!**

TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION 2026  
**TOKYO PACK 2026**  
OCT.14~16, 2026 TOKYO BIG SIGHT



包みの技術で 世界に優しさを  
Innovative Packaging Technology  
~ The link between our future planet and generations ~

包装の最新情報が一堂に集まる国際包装展 **東京ビッグサイト**  
2026東京国際包装展 **東1-3, 7, 8ホール**  
2026年10/14(水)16(金) 開催時間 10:00~17:00  
主催 公益社団法人日本包装技術協会 <https://www.tokyo-pack.jp>

TOKYO PACK 2026 公式ポスター

公益社団法人日本包装技術協会は、2026年10月14日(水)～16日(金)の3日間、東京・有明の東京ビッグサイトに、世界有数の国際総合包装展「TOKYO PACK 2026」を開催します。

31回目となる本展は、新居実行委員長(TOPPAN株)をはじめ、25名の実行委員により編成された実行委員会を2025年5月に発足させ、包装産業の更なる発展に寄与できる展示会となるよう準備を進めております。今回の開催テーマは「包みの技術で 世界に優しさを」。2025年9月24日(水)より出展社の募集を開始します。

日本が世界に誇る「環境」・「機能」・「次世代技術」・「印刷・表示技術」の4つのキーワードを出展テーマに設定し、TOKYO PACKから世界へ包装の最新情報を発信します。

東京ビッグサイトでは、施設の経年劣化への対応及び各種設備更新等のため、施設の休館を伴う大規模改修工事を実施しております。会場となる東展示棟につきましても、利用を予定している全ての展示会に対し、約2年にわたり利用が制限されます。そのため、TOKYO PACK 2026は、前回(TOKYO PACK 2024)と比較すると、総展示面積が大幅に減少することから、例年以上に早く定数に達することが予想されます。お早めに出展申込みいただくことをお勧めいたします。

TOKYO PACK 2026 公式ホームページ  
<https://www.tokyo-pack.jp/>

## TOKYO PACK 2026 開催概要

【会期】 2026年10月14日(水)～10月16日(金)3日間 10:00～17:00

【会場】 東京ビッグサイト 東1～3, 7, 8

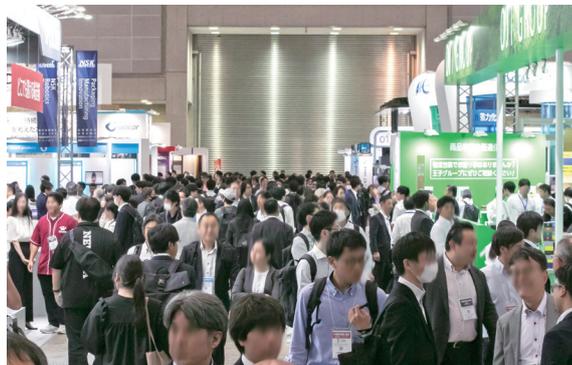
【開催テーマ】 包みの技術で 世界に優しさを

Innovative Packaging Technology  
~The link between our future planet and generations~

【主催】 公益社団法人日本包装技術協会

【出展社募集期間】 2025年9月24日(水)～2026年4月24日(金)

※定数に達し次第、締め切りとさせていただきます。



【お問い合わせ】 2026 東京国際包装展事務局 公益社団法人日本包装技術協会 内

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL: 03-3543-1189 FAX: 03-3543-8970 E-mail: t-pack@jpi.or.jp



# 出展料金 1小間単価

[通常小間サイズ(主催者企画ブースを除く)：間口2.97m×奥行2.97m=8.82m<sup>2</sup>]

出展料金区分	出展料金(税込)	本体	消費税10%
会 員	¥ 341,000	¥ 310,000	¥ 31,000
一 般	¥ 429,000	¥ 390,000	¥ 39,000

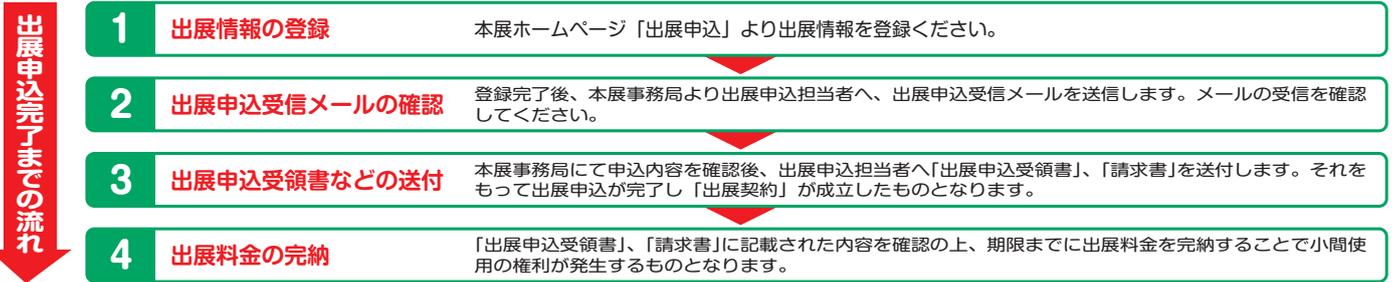
※「会員」とは、主催者である公益社団法人日本包装技術協会ならびに日本MH協会の法人会員に入会・登録している法人のこと(個人会員、また法人会員の関連企業は含まれません)。「一般」の出展料金が適用されます。

## 早期特典・大小間出展特典

- 2025年12月12日(金)までに出席申込みいただくと、下記より希望するエリアを選べる早期特典をご用意します。
  - 東1~3ホール ■東7~8ホール ■どちらでも可
  - ※必ずしも希望するエリアを約束するものではありません。小間位置は申込み順、過去の出展実績、小間形状等を勘案し主催者が決定します。
  - ※各エリアとも先着順、定数に達し次第締切となります。
- 20小間以上で申込みいただくと、大小間出展特典として**1小間につき10,000円割引!**(消費税別)

## 出展申込方法 ※2025年9月24日(水)より出展申込の受付を開始します。

TOKYO PACK 2026の出展申込は、オンライン方式となります。本展ホームページ「出展申込」よりお手続きください。



## 実行委員会

\*敬称略 会社名50音順

実行委員長  
新居 善次 TOPPAN(株)

副実行委員長  
津田 邦夫 (株)タカラ

実行委員  
高田 知之 artience(株)  
西川みどり アルマーク(株)  
澤野 啓二 アンリツ(株)

駒井 祐郎 イーデーエム(株)  
師井 秀和 出光ユニテック(株)  
山縣 茂 王子産業資材マネジメント(株)  
西園 明美 共同印刷(株)  
甘利 明敏 (株)クラウン・パッケージ  
奥田 佳隆 ZACROS(株)  
松本 誠志 (株)サンエー化研  
向井 浩也 四国化工機(株)  
中村 彰 ストラパック(株)  
喜志 伸幸 大日本印刷(株)

岩崎みづえ DIC(株)  
田原 健作 東洋製罐グループホールディングス(株)  
櫻井 克 TOPPAN(株)  
浪江 栄治 (株)トバック  
青木 康哲 日本工業刃物(株)  
鍛冶 葉子 日本テトラパック(株)  
石原 貢行 日本包装機械(株)  
島里 誓 PACRAFT(株)  
大門 徹 三菱商事パッケージング(株)  
石川 淳生 レンゴー(株)

## TOKYO PACK 2026 開催テーマ

包みの技術で 世界に優しさを Innovative Packaging Technology ~The link between our future planet and generations~

TOKYO PACK 2026では、開催テーマに併せて下記4つの出展テーマを設定します。出展申込フォームにある該当する出展テーマを選択すると、出展社個別ページで選択した出展テーマが表示されるサービスをご用意します。また、4つの出展テーマに沿った併催行事を企画します。

エコパッケージが切り拓く未来	包装と未来のスマート革命
<p><b>注目テーマ：</b>サーキュラーエコノミー、持続可能な社会の実現に資する包装技術、資源循環に資する包装技術、脱ワンウェイ、温室ガス抑制(紙化・バイオマス)、包装の小型化・薄肉化・単純化、マテリアルリサイクル(モノマテリアル、複合材料分離)、ケミカルリサイクル、管理手法としてのブロックチェーン、マスバランスなど</p> <p>サステナブルな社会の実現には、サーキュラーエコノミーとカーボンニュートラルを一体的に推進することが不可欠です。その解決策として、従来の3Rに加え、「Renewable」を強化する動きが加速しています。近年は、リサイクル可能な素材やバイオプラスチックの採用が増加し、特に紙製品の包装材が注目を集めています。</p> <p>さらに、海洋プラスチック問題の解決に向けた取り組みも活発化しています。資源循環を考慮したデザインの導入が進み、包装材の分別回収や再利用を容易にする技術が普及しつつあります。また、これらの取り組みを支えるためには、情報流通の基盤を構築し、動脈側と静脈側の新たな施策によるライフサイクル全体での連携強化が求められます。特に、近年はEPR制度が世界各地で導入され、企業に対する環境対応の責任の明確化が求められています。</p>	<p><b>注目テーマ：</b>AI、IoT、ロボティクス、デジタル化、設計技術、自動化(省力化・省人化)、RFIDなどの導入による技術革新</p> <p>日本では高齢化社会が進み、生産労働人口の減少が深刻な課題となっています。この影響は包装や物流の現場にも及び、労働力不足への対応が急務となっています。このような背景から、Eコマースの拡大やSKUの多様化に伴い、管理コストや作業コストを削減するため、自動化やデジタル化へのニーズが急速に高まっています。</p> <p>また、最新のデジタル技術を活用したスマートパッケージングが、物流現場や生活者体験に革新をもたらしています。RFIDタグや二次元コードを組み込んだ包装材は、在庫管理やトレーサビリティを容易にし、効率的な物流運用を可能にしています。同時に、生活者が製品情報やリサイクル方法にアクセスできる仕組みを提供し、包装の付加価値を高めています。</p> <p>更なる生産性向上を目指すには、次世代技術の導入と継続的な技術革新が不可欠です。AIを活用した需要予測システムや自動化された包装ラインの導入は、労働力不足の問題を解決し、スマートパッケージングの普及と包装の付加価値をより一層高めると期待されています。これらの取り組みを通じて、持続可能で効率的な包装と物流の未来を築くことが求められています。</p>
包装機能が支える持続可能なライフスタイル	印刷・表示技術から始まる情報伝達革新
<p><b>注目テーマ：</b>食品ロス・ロングライフ、鮮度・品質保持、表面処理、加工技術、加飾技術、設計技術等</p> <p>世界の人口は80億人を超え、その一方で、世界で生産される食糧の約3分の1が廃棄されていると言われてます。増加し続ける人口や、SDGsのテーマである「持続可能な世界」を考えると、限りある食料や食品を無駄なく活用することは、全世界共通の喫緊の課題です。この課題において、包装は食品ロスの削減における重要な役割を担っています。</p> <p>さらに、包装は生活者にとって、使いやすさや五感に訴えかける機能性が求められる中、最新の包装デザインは「よりおいしく、より簡単に、より安全に、より便利に」というニーズに対応しています。例えば、個食化の需要が高まる中、持ち運びやすく調理が容易な包装が多数登場しています。</p> <p>このように、包装は単なる「包む」機能にとどまらず、食品ロスの削減や生活者の体験価値向上を通じて、持続可能な社会の実現においてますます重要な役割を果たしています。</p>	<p><b>注目テーマ：</b>最新印刷技術(オンデマンド(デジタル)、オフセット、グラビア、フレキシ、スクリーン等)、インクの技術革新、3D技術</p> <p>包装の重要な役割である「情報伝達」は、主に印刷・表示技術が支えています。製品の内容物や取り扱いに関する基本情報を提供するだけでなく、販売促進や店頭での訴求効果を高める重要な機能も担っています。特に近年、軟包装業界では少量多品種生産への対応が進み、フィルム資材の無駄や余剰在庫の削減を通じて環境負荷を低減するニーズが高まっています。これに伴い、高精度なデジタル印刷技術が採用され、パーソナライズされたデザインや短納期対応が可能になっています。近年には、パッケージ上でのインク活用の可能性がさらに広がり、鮮やかな表現や特殊な触感加工に加え、環境負荷を低減する新しいインク技術が注目を集めています。</p> <p>また、インクレスやラベルレス技術の進展も見逃せません。UVレーザー印字やエンボス加工といった技術を活用することで、インクやラベルを使用せずに必要な情報を容器や包装材に直接記載する方法が普及しつつあります。これにより、プラスチック使用量を削減し、リサイクル性を向上させると同時に、資材コストの削減も実現しています。</p> <p>例えば、飲料業界ではラベルレスボトルが急速に広がりを見せています。このように、高度な印刷・表示技術によって、包装の情報伝達機能は従来の枠を超え、消費者体験の向上や環境への配慮など、より重要な役割を果たすツールへと進化しています。</p>